

一般財団法人日本私学教育研究所主催
2019(令和元)年度 全国私立中学高等学校

< 私学経営研修会実施報告（概要） >

今年で64回目となる私学経営研修会は、「新たな時代に立ち向かう私立学校～持続的発展を目指す経営と教育～」をテーマに、大阪府大阪市・リーガロイヤルホテル大阪を会場として、2019年6月6日・7日の2日にわたり開催し、28都道府県より私立中学高等学校の理事長・校長等122名が参加した。

大阪府で初めての開催となった当研修会の開会式には、酒井隆行大阪府教育長が来臨され、歓迎の意と私学教育への期待を込めて祝辞を披露された。

全体会では、日本私立中学高等学校連合会・日本私学教育研究所幹部役員による2020年に向けた教育制度改革と私学の対応など最新の中央情勢に関する講演・報告、地元産業界を代表して浅田美明(株)五感ホールディングス代表取締役社長による基調講演、近藤未生大阪府教育庁私学課長による大阪私学の現状と課題について報告が行われた。地元の芋縄隆史(株)コノミヤ代表取締役社長、森眞太郎大阪私立中学校高等学校連合会会長らをパネリストに迎えてのパネル・ディスカッションでは、研究のねらいをテーマに、私学助成・教育費無償化の動向、新時代の教育を担う教員のあり方と学校の働き方改革、主体的・対話的で深い学びと大学入試改革への対応、私学の独自性をいかに発揮するかなどについて事例紹介と提言がなされ、活発な意見交換が繰り広げられた。

夕刻からの教育懇談会には大阪府より片山靖隆教育庁私学監が来臨され、歓迎の挨拶を述べられた。

参加者は教育懇談会における交流と情報交換を経て、翌日の意見交換会では、次代の経営と教育ビジョン、高大接続と新しい学び、教職員の働き方改革、選ばれる私学などをテーマに、各校が直面する経営と教育の諸課題について本音で語り合い、それぞれの経験と課題を共有した。

2日目午後は、大阪府の特色豊かな教育を実践されている2校（高槻中学校・高等学校：SGH・SSH指定校、近畿大学附属高等学校・中学校：ICT活用教育）の授業・施設を視察し、参加者からは、ICT機器や英語を使いこなして主体的な学びを実践している生徒と教員による新しい教育に取り組む授業の様子や、充実した図書館や教育スペースの活用法など大変参考になったとの声が寄せられた。

地元関係者の協力のもと、激動の改革期に社会と教育の潮流を捉え、各私学が進むべき道を探るべく企画実施した研修会は、経営・教学のトップリーダー達の士気を鼓舞し、各校の教育活動の更なる充実へとつながる好機となり、所期の目的を達成して成功裡に終了した。

